X-MON BOX IP アドレス設定方法 (RHEL/Rocky Linux 8 系)

- 1、X-MON サーバヘモニタとキーボードを接続(仮想環境の場合はコンソール接続)し、 root ユーザにスイッチします。
- 2、変更するネットワークインターフェースの名称を確認します。
 以下のコマンドを発行してください。

ip a

[r	oot@X-MON ~]# ip a
1:	lo: <loopback,up,lower_up> mtu 65536 qdisc noqueue state UNKNOWN group default qlen 1000</loopback,up,lower_up>
	link/loopback 00:00:00:00:00:00 brd 00:00:00:00:00:00
	inet 127.0.0.1/8 scope host lo
	valid_lft forever preferred_lft forever
	inet6 ::1/128 scope host
	valid_lft forever preferred_lft forever
2:	enp4s0: <broadcast, lower_up="" multicast,="" up,=""> mtu 1500 gdisc mg state UP group default glen 1000</broadcast,>
	link/ether
	inet (1)/24 brd (1)/24
	valid_lft 50178sec preferred_lft 50178sec
	inet6 fe80::d250:99ff;fec2:8c63/64 scope link noprefixroute
	valid_lft forever preferred_lft forever
3:	enp5s0: <no-carrier, broadcast,="" multicast,="" up=""> mtu 1500 gdisc mg state DOWN group default glen 1000</no-carrier,>
	link/ether arterior brd ff:ff:ff:ff:ff

インターフェースのタイプが「link/ether」、状態が「state UP」のものを利用します。 後に利用しますので、インターフェース名称を控えておいてください。 この出力例では、「enp4s0」となります。

3、ネットワーク設定ファイルを編集します。

<インターフェース名称> は、先ほど控えたインターフェース名で置き換えてください。

・初期設定シートに「DHCP」と記載されているお客様

vi /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-<インターフェース名称> 初期の設定ファイルは以下のようになっています(一部抜粋)

DEVICE=<インターフェース名称> BOOTPROTO=dhcp ONBOOT=yes

・初期設定シートに固定の IP アドレスが記載されているお客様

vi /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-<インターフェース名称> 黄色の箇所がお客様指定のものとなっております(一部抜粋)

DEVICE=<インターフェース名称> BOOTPROTO=none IPADDR=<mark>192.0.2.120</mark> GATEWAY=<mark>192.0.2.254</mark> PREFIX=<mark>24</mark> ONBOOT=yes 各項目は以下を意味します。

DEVICE	デバイス名
BOOTPROTO	IP アドレス指定方法
	DHCP で動的に IP を割り当てる場合は「dhcp」と指定します。
	固定の IP を割り当てる場合は「none」と指定します。
ONBOOT	起動時の自動起動の有無
	「yes」を指定すると、サーバ起動時にインタフェースが自動で起動します。

以下は初期設定シートに固定の IP アドレスが記載されているお客様のみ記載されている項目です。

IPADDR	IP アドレスを指定
PREFIX	IP アドレスのプレフィックスを指定
GATEWAY	デフォルトゲートウェイアドレスを指定

IP アドレス、プレフィックス、デフォルトゲートウェイアドレス(水色の箇所)を任意の値に変更します。 none の箇所が dhcp となっている場合は、none に書き換えてください。

例

DEVICE=<インターフェース名称>
BOOTPROTO= <mark>none</mark>
IPADDR= <mark>203.0.113.10</mark>
GATEWAY= <mark>203.0.113.254</mark>
PREFIX= <mark>24</mark>
ONBOOT=yes

次のコマンドで設定を反映させます。 # nmcli con down <インターフェース名称> # nmcli con up <インターフェース名称>

それぞれ次のように応答があり、特にエラーが表示されなければ設定反映コマンドの実行は完了です。 Connection '<インターフェース名称>' successfully deactivated Connection '<インターフェース名称>' successfully activated

4、下記のコマンドを発行し、設定が正しく反映されていることを確認します。

ip address show <インターフェース名称>

[root@X-MON ~]# ip address show enp4s0 2: enp4s0: <BROADCAST,MULTICAST,UP,LOWER_UP> mtu 1500 qdisc mq state UP group default qlen 1000 link/ether concentration brd ff:ff:ff:ff:ff inet concentration /24 brd 192.168.10.255 scope global noprefixroute dynamic enp4s0 valid_lft 48993sec preferred_lft 48993sec inet6 fe80::d250:99ff:fec2:8c63/64 scope link noprefixroute valid_lft forever preferred_lft forever

3 行目の「inet ○○○/○○」の表示が、IPADDR、PREFIX で指定した値になっていることを確認します。

以上で、IP アドレスの設定は完了です。 Web ブラウザで X-MON の管理画面を表示するには、 http://<設定した IP アドレス>/ を開きます。